

組織目標評価報告書（平成21年度）

部局名： アドミッションセンター

	組織目標	達成状況(成果)
教 育	該当なし	
		達成度: 4 3 2 1
研 究	入試の在り方と改善に関する次の調査・研究を行い、入試の改善に資する。 1. 入学者選抜方法の分析と妥当性の調査 2. 入学者選抜方法の単純化と統一化	入試改善として、今後の入試改善に生かせる資料が得られた。 1. 平成18年度から20年度の入学生に対して、入学方法と在学時成績の相関関係を分析した。 この分析結果の大きな収穫は、AO・推薦入試と一般入試の学生の比較から、AO・推薦入試の方が優秀だとの傾向を得たことにある。
		達成度: 4 ③ 2 1
セ ン タ ー 業 務	1. 優秀な学生の確保 大学全体のアドミッションポリシーの構築を進めるとともに本学が求める資質を持つ入学者の獲得に努める。 また、志願者増を目指すための戦略的な広報を行い、優秀な学生の確保に努める。 2. 学部入試制度の改善 学部入試制度の改善に努め、受験生等にわかりやすい入試を目指す。 3. 大学院入試制度の改善 優秀な学生の確保を目的として入学者選抜方法を更に改善する。	1. 優秀な学生の確保については、アドミッションポリシーを年度当初より作成にかかり、原案は完成し、各学部のデュプロマポリシーとのすり合わせ準備にかかり、平成22年度中に公表予定である。 広報活動として、学生・保護者・進路担当者向けとして、学内外の説明会・高校訪問等を実施し、オープンキャンパス等は、昨年より1～2年生の集客が増大した、これを数年後の志願者増へとつなげるために、次年度の広報をより充実させる予定である。 2. 入試制度の改善については、入学者選抜方法WGにより、次の2点を検討し、実現するために、調査準備した。 1) 国際バカロレア・ディプロマ資格を有する者を、書類審査のみにより選抜する入試制度を調査、検討した。 2) 入学後に学びたい内容や所属したい学部を決定できる総合入試(募集単位の拡大)制度を調査、検討した。
		達成度: 4 ③ 2 1
社 会 貢 献	1. 高大連携事業に積極的に参加する。	県内外からの岡山大学訪問、県内外の高校訪問をアドミッションセンター教員が担当実施した結果、平成22年度の志願者増につながった高校が複数あった。 次年度も積極的に参加予定である。
		達成度: ④ 3 2 1
【自己評価総括記述欄】※目標及び指標の達成状況について総括し、次年度に向けた改善点等を記載してください。 概ね、年度内の目標は達成できた。今年度で準備、蓄積できた情報等を、次年度につなげる予定である。また、下記を重点課題として、準備・立案・実施する。 1. アドミッションポリシーを最終決定する。 2. 国際バカロレア・ディプロマ資格を有する者の入試実施の計画立案を完成し、実施に向けて準備をする。 3. 総合入試を検討準備する。		

【達成度】 4:非常に優れている 3:良好である 2:概ね良好であるが改善の余地あり 1:不十分であり改善を要する

注)本様式は一般的な学部・研究科用であり、部局の特性に合わせて設定した領域・指標により修正してください。

[組織目標一覧へ](#)